

湘南慶育病院

増田 美奈 (看護部 / 看護助手)

功 績 各方面との調整、定数の管理の仕組み構築が病院の経費削減に貢献した功績。
推薦者氏名 櫻井 恵美子(病棟師長)
推薦理由 筋肉質な経営という大目標に向けて、率先して動き、1年という期間で病棟のSPDの定数管理手法の定着、かつ中央管理室の在庫数の削減に努め、医療消耗品の在庫額を削減した功績は理事長賞に相応しいと考え推薦します。

内 容

筋肉質な経営の大目標に対して、2024年11月から導入した医療消耗品のSPD管理を2025年通年で定着させる事が看護部の医療消耗品の削減につながる大きな施策でした。

初めに4階、5階のSPD倉庫を3階と同じ位置へ移動。物品を同じ場所に保管し棚やケースに物品名も表示。病棟間で貸借出来るようにし、各病棟で使用頻度が高いものと低いものをデータ化し、整理していきましました。使用頻度が低い物は不良在庫にならないように定数化せず、中央管理としました。過去からの積み重ねによるものも含め、一番難渋しましたが、次に中央管理の在庫数の削減に取り組みました。手間がかかりましたが、在庫物品を確認し先に使用するようスタッフへ周知。スタッフの協力もあり無駄が出ないよう都度在庫の確認を行い、徐々に削減に繋がっていきました。また、物品を安価なものに変更するよう提案し、サンプルを使用し問題がない場合は、随時変更も行っていました。

結果、対前年度3月末の消耗品在庫金額が下記のとおり大幅な削減につながり、経費削減に大きく貢献したといえます。

2025年3月末在庫金額 761万円

2026年3月末在庫金額 413万円

対前年度月末在庫差異金額 ▲348万円

現在、その取り組みは手術室の手術材料の管理にも適用。更なる経費削減に繋げて参ります。